

KOCHI 2023 ROTARY 2024 CLUB SINCE 1937



世界に希望を生み出そう
2023-24年度 RIテーマ

週報



Weekly report

第3584回
第3585回

2024年4月2日
2024年4月11日

2024年4月16日発行

● 会長挨拶



皆さん、こんにちは。新年度が始まって、タイミング的に高知は今、桜の花が満開です。

私の岡山の会社では、後楽園に桜を見に行くことが恒例になっていて、この土曜日、近くの店を予約してありました。しかし、今年は花が遅くて、屋台などは一杯出ていますが、桜が全くない。結局、単なる宴会になりました。多分、今週辺りが見頃になるのではないかと思います。

翌日、大阪の私がよく行くバーから「花見をするから来ませんか」とご案内がありました。それも昼から、各自で食べ物や飲み物を持って、三々五々集まるのでどうぞということでした。岡山がこれだから、多分大阪もだめだろうと思っていました。店の近所の公園は、確かにソメイヨシノはまだ咲

いてなかったのですが、カワヅザクラが何本もあって、満開でとてもきれいでした。こんな公園にこんな桜があったんだと思いながら、一杯やりながらブルーシートに寝っ転がって空を見ていたら、雲がゆっくり流れて、久々にゆったりとした時間を過ごしました。

顔見知りの方も何人かいらしたのですが、夜のバーで会うのとはちょっと違って、ご夫婦で犬の散歩がてら来たり、お子さんを連れて来たり、結婚相手の彼女を紹介がてら連れて来たり、皆さんの普段の生活を垣間見たようでした。特に、夜は着物を来ている近くのバーのママが、洋服で帽子を被ってメガネをかけて、スポーティな格好で、いくら見ても誰か分からない。女性というのは、本当にすごいなと思いました。

久々に、日曜日ってこんな感じだったなというのを思い出した、お花見の報告です。



■本日のプログラム [4月16日]

ゲストスピーチ

歴史研究者 公文 豪氏

(元県議会議員・元高知近代史研究会会長)

「岐阜の凶変 一板垣死すとも」

会 長	中 澤 陽 一
副 会 長	中 島 和 代
幹 事	細 田 長 司
副 幹 事	入 交 英 太
会報責任者	小 林 達 司

4月2日 例会

● ロータリーソング「君が代」「四つのテスト」



● 幹事報告

- ・4月のロータリーレートは1ドル151円です。
- ・ガバナー月信4月号を各テーブルに配布しました。5ページに森恒一郎財団委員長の原稿が載っていますのでご一読ください。
- ・ガバナー事務所より、能登半島支援金のお礼が届いています。
- ・米山梅吉記念館より館報と春季例祭の案内が届いていますので回覧します。
- ・情報集会の班分けを作成中です。近日中にお送りします。
- ・4月9日の例会は11日の8RC合同夜間例会に振り替えです。
- ・5月18日に開催される地区大会への参加者は12名ですが、追加参加が可能ですので、ぜひ多くの参加をお願いします。
- ・本日例会終了後、理事会を開催します。



● 地区財団委員会より

ボックスにアンケート用紙を入れています。自分のID番号を知っているか。財団への年次寄付0クラブ0を目指していることを知っているか。個人登録をすると財団への寄付が税金の還付を受けられることを知っていたか。税金の還付が受けられるように登録するべきか。この四つの質問に答えていただくよう協力をお願いします。



● ゲストスピーチ

きんこん小咄

漫画家 村岡マサヒロ 氏

高知新聞の「きんこん土佐日記」の連載を27歳から始めて、あっという間であまり実感がなかったのですが、昨日20年を迎えました。いの町の自宅兼事務所で、陽の明るいうちはマンガを描いています。普段は4コマの枠の中に、どのようにセリフを入れよう、どういう順番でキャラクターを配置すると読みやすいか、ちゃんと下書きから描きます。ネタができて、下書き、ペン入れ、パソコンに取り込んでメールで送るまで、1時間ぐらいで1本が仕上がります。カラーのときは、さらに1、2時間かかります。



(きんこん土佐日記のキャラクターを描く実演)

私の家は父方の祖父母、曾祖母と4世代が同居していましたので、小さい頃はいろんな年代の土佐弁を聞いて育ちました。タクミくんは幼稚園に通う5歳児で、私の環境に近いキャラクターです。両親が仕事で夜まで帰ってこないのです。おじいちゃん、おばあちゃんと過ごす時間が長くなって、年

寄りくさい土佐弁をよく喋ります。おじいちゃん、ヨシキ。私の父方の祖父のヨシオと、曾祖父のオトキチを合体させてヨシキという名前にしました。昔ながらの酒好きの高知のおんちゃんです。

おばあちゃんの名前も、私の祖母クニコ、曾祖母タツエを合体してクニエ。ハチキンのおばあちゃんですが、とても古臭い格好をしています。連載が始まってすぐ、ある読者の方から「こんな古臭い格好しているおばあさんはおらんで」と投書が来たそうですが、これは私の曾祖母の格好が元になっています。

タクミ君が時々おだって、わけが分からなくなると、意味不明の「ピエポー」と叫びますが、これも全く意味がなく、新聞社にどういう意味かという投書が来たそうですが、子どもがおだったときの叫び声ですので理由はなく、感情の叫びです。

身近な人がキャラクターや名前のヒントになることは多々あります。きんこん土佐日記を描きながら一番心がけていることは、高知新聞に連載していて、高知県民が読みますので県民が読んで共感したり、理解したり、こういうおじいちゃん、おばあちゃん、おるおると喜んでもらえる。特別何かドラマチックなことが起こるのではなく、高知で暮らすおじいちゃん、おばあちゃん、孫の日常で、ちょっと面白いことが



描けたらいいなと思っています。

「きんこん土佐日記」とタイトルを付けた理由の一つは、おじいちゃんとおばあちゃんが結婚して50年、金婚式を迎えたという意味と、アンマンマンとかチャイムのキンコンカンとか小さいお子さんでも言いやすい、覚えやすい響きの良さ、家庭の円滑な様子なども表しています。

「ネタはどういうふうに作っているんですか」と聞かれることが多くありますが、特別な意識ではなくて、習慣になっています。例えば料理を作るような感覚です。作ることに慣れると、冷蔵庫の食材を見て、料理を決めて味付けもできて、少しずつ腕も上がってきます。マンガのネタづくりも似ていて、あちこちで日々起こる出来事、素材を組み合わせていきますので、どんなことでもネタになります。

例えばクニエおばあちゃん、毎年冬になると唇が乾燥して荒れて、切れて血が出る。では、どのタイミングで唇が切れるか。それは私自身とリンクしています。私が唇が弱くて、切れた体験をネタにします。唇が切れてお金儲けができる人はなかなかいないと思います。あるとき「ここへゴミを捨てられん」と書いてある看板自体が落ちて、ゴミになっているというネタを書いたことがあります。これも実際にこういった場面に出会ったのでネタにしました。

また、先日、秋田県知事の一連の発言に対して濱田高知県知事の対応をネタにして、おじいちゃんが宇和島のじゃこ天と秋田のいぶりがっこを肴に、高知の日本酒を飲んで「口の中では全てが仲良し、悪口や争いはもうアキタね」というマンガを新聞に載せたところ、これが秋田の新聞にまで掲載されました。さらに、秋田の記者が高知のシラス漁などの取材に来て、私のところまで訪ねてきて、マンガを描いた状況なども取材して記事になったという縁もできました。

ここ数年「いらすとや」という誰が使ってもいいですよというフリーのイラスト素材があって、とても使い勝手がよくて、高知県内を見渡しても「いらすとや」のイラストがそのままチ

ラシや広告に使われたりしていることがよくあります。

でも、ちょっと待てよと。せっかく高知県はまんが王国、漫画家が多い県だと官民挙げて推進しているのに、わざわざフリー素材を使うことはないんじゃないか。地産地消で地元のイラスト、それも、地元の子どものイラストをどんどん使っていったらどうかと考えています。例えばスーパーで野菜を売るとき、地元の小学生に広告を描いてもらう。広告を描くためには、商品のことを知らなければいけませんので、絵を描く子どもたちは地元のことを調べます。

プロになるためには、自己満足のものでは駄目で人に見せる作品、見た人が喜んでくれる作品でないといけません。小さいときから広告を作っていると、人の目を意識して、見る人のことを考えながら作品づくりができます。それで商品が売れたら嬉しいわけです。それだけの力は、高知の子どもたちにあると思います。今、高知新聞で月1回、子どもたちから4コママンガを募集して、選んで講評をつけて、掲載するコーナーを持っていますが、そこに集まる作品は大人顔負けで、プロを凌ぐパワーもあります。これをもっともっと生かせるように、イラストの地産地消のプロジェクトができればいいなと考えています。普段、マンガに興味のない人たちにも、高知はマンガ王国で身近に根付いているんだなと体感してもらえます。そして、誰でも参加できて、アートと日常生活との融合のようなイベントなども開催できたらと思います。

どんな些細な出来事でも、楽しく、面白がってネタにすることによって、新たな展開が生まれてきます。私が面白いネタを見つけるためには、高知県の人々が楽しく生活していることが一番です。楽しく過ごしている人がたくさんいれば、面白いこともたくさん起こってきます。高知県民が楽しく生きている、それが一番の観光資源でもあり、そんな楽しい高知県をつくっていけたら。そして、そういう楽しい高知づくりのパズルの一つのピースとして「きんこん土佐日記」が機能していけたらいいなと思っています。



4月11日 8RC合同夜間例会

ザクラウンパレス新阪急高知（ホスト：仁淀RC）





◇ 例 会 変 更 ◇

高知中央RC	4月18日	職場例会(城)	高知南RC	4月25日	例会場変更(阪)
高知西RC	4月26日	ロータリー休日(三)	高知RC	4月30日	ロータリー休日(三)
高知ロイヤルRC	4月30日	定款第8条第1節により休会(高)	高知東RC	5月1日	ロータリー休日(阪)
高知南RC	5月2日	祝日の週につき休会(阪)	高知中央RC	5月2日	憲法記念日に振替の為休会(城)
高知ロイヤルRC	5月7日	定款第8条第1節により休会(高)	高知中央RC	5月9日	子どもの日に振替の為休会(城)
高知南RC	5月16日	地区大会に振替(阪)			

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (高)…高知プリンスホテル

 **ニコニコ箱** (4月2日)【敬称略】

- 宮田 速雄 村岡さん、今日は楽しい話ありがとうございました。連載を始めてもらうとき、若いのに毎日大丈夫かなと少し心配しましたが、20年、6,000回を超えました。これからもちょっぴり毒のあるマンガをよろしく。
- 千頭 邦夫 昨日、土本会員の医院に行きましたら、川添昇元会員と奥様にお会いしました。ニコニコと元気そうな笑顔に安心しましたが、そばに寄ってきて「この歯医者さんは容赦してくれん、痛い!」と声をひそめて訴えるので、思わず笑ってしまいました。大病からの回復ぶりに心からニコニコです。
- 古谷 純代 お誕生日を祝っていただきありがとうございます。また、明日の主人の誕生日にはお花の手配いただくため重ねてありがとうございます。今年も満開の桜の花を見て幸せを感じます。
- 川崎 敦子 中澤会長より「おめでとうございます」のメッセージ付きで、素敵なお花が届きました。2行目が「今年も来ました、誕生日!」と。主人ならもっと優しい言葉をかけてくれたと思いますが、そうなのですよネエ。お祝いメッセージをくださった皆さま方にも感謝を込めてニコニコします。
- 和泉 潤 先日は妻の誕生日に素敵なお花をありがとうございました。毎年、この日はご機嫌な妻です。ニコニコ
- 中村 裕司 結婚記念日をお祝いいただきありがとうございます。金婚式まであと5年。夫婦元気で仲良くがんばります。
- 森本 征彦 結婚記念日を祝っていただきありがとうございます。57年前が懐かしく思います。
- 関 裕司 結婚記念日お祝いに感謝して!



◇ 出 席 率 ◇

	総数	出席	欠席	マイキャップ	出席率
4月2日	(-7)83	45	25	6	67%
3月19日	(-4)89	44	18	23	78%

● 累計額 [4月2日現在]

ニコニコ箱	650,800円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	185,698円	ポリオ募金	396,900円
-------	----------	--------------------------------	----------	-------	----------

■ 次週のプログラム [4月23日]

新会員スピーチ
 四国電力(株)高知支店
 執行役員 高知支店長
 十河 睦友 会員
 「再生可能なエネルギーは、再生できません」

創 立 昭和12年10月
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
 事 務 局 高知市本町3丁目3-39 高知放送南館8階
 TEL(824)8660 FAX(824)2529
 E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp
 HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>